

# 中山道 笠取峠～和田宿

BS…バス停 ★…中山道石碑 24…コンビニ ➡…徒歩目安時間



上田市

## 若宮八幡宮

武田晴信（信玄）の信濃侵攻の前に敗れ、自害して果てた和田城主の大井信定父子の首級を埋葬したと伝えられている。元禄6年（1693）、信定寺の和尚が追悼の碑を建てた。

## 三千僧接待碑

江戸時代中期、諸国遍歴の僧侶に対する供養、接待を發願して信定寺別院の慈眼寺に建立された碑。往還僧にあまねく知らせるために寛政7年（1795）この地に移された。

## 八幡神社

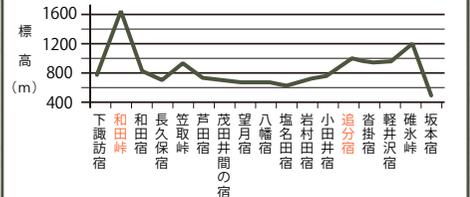
和田城主大井氏の居館の鬼門除けに造られたとの伝承がある。本殿は江戸時代中期の作と推定されている。

## 長久保宿本陣

真田信繁（幸村）の長女が嫁ぎ、江戸時代を通じて、本陣と問屋を務めた。当時の建造物としては御殿と表門が現存し、御殿は中山道では現存する最古の本陣遺構といわれている。長久保宿は当初、現在の位置より西下の依田川沿いに設けられていた。しかし大洪水によって流失したため、寛永8年（1631）段丘上の現在の位置に移り、本陣・問屋を中心に東西方向に「堅町」を形成し、後に宿場が賑わうにつれ、南北方向に「横町」を形成していったため、L型の町並みになっている。

## 宿場の標高

東信州中山道を通過するには、和田峠、笠取峠、碓氷峠の3つの峠を越えなければならなかった。和田峠（標高1,600m）は中山道最高地点であり、また宿場で見た場合、最も高いのは追分宿。



和田宿

約 2.3km

上組一里塚跡

約 2.9km

落合橋

約 2.6km

長久保高札場（日本陣前）

約 2.4km

笠取峠

立科町

上り  
約 40分

下り  
約 35分

上り  
約 50分

下り  
約 45分

上り / 下り  
約 45分

上り  
約 40分

下り  
約 50分